

学校運営協議会通信発行について

令和6年2月5日
学校運営協議会通信

今回よりこの通信を発行し、学校運営協議会でどんな話題が挙がったかについて報告していきます。そもそも、学校運営協議会とは何か、まだまだ知らない方がいらっしゃると思うので、まとめてみました。

学校運営協議会とは
学校の運営に関する重要な決定を協議し、意思決定を行う組織です。

松中小学校では、年間4回開催され、学校の様子や地域での子どもたちの様子などを交流しています。今回は1月にあったので、来年度の教育課程の説明をしました。

1 開催日時 1月29日(月) 16時～17時30分 場所：家庭科室

2 会議議題

① 校長より

今年度を振り返って

- ・今年度学力は都平均より下回っている。体力テストについても、都平均を下回っている。原因として持続力やチャレンジしていく力が弱いと考えられる。放課後ゲームに依存している子も多くいる。そういうことを踏まえ、来年度の計画を立てている。
- ・不登校の数は年々減っているが、改善傾向にある。
要因として、不登校の原因の一つに学力が関わっていることも分かった。
行事を目標に頑張って登校できる児童もいた。(今年度、すべての行事を行うことができた。)
特別支援の充実とは、教室に入れないう子が増えている。原因として、聴覚過敏などがあげられる。先生方の共通理解を深めながら、その子にあった未来を提示できるように教員育成を図る。
- ・ICTの活用。タブレットや電子黒板を活用し、基礎基本の定着を目指し授業改善を行っていく。

来年度に向けて

- ・来年度中規模改修工事になる。体育館、廊下、トイレのバリアフリー化、スロープの設置など4月から2月まで工事がかかる予定です。工事の関係で昇降口も時期によって変わります。
- ・水泳指導については、令和6年度は民間委託化され、外部のプールにバスに乗って行く予定です。

② 運営委員会会長より

- ・PTA 等も含め新しい仕組みづくりが必要だと感じる。

子どもたちにとってよい松中小学校になればよいと思います。

③ 来年度の教育課程について

1・2表より、教育目標変わらず、重点も「かしこく」で変わらない。

思考力判断力表現力を身に付けさせるために、基礎基本が大切。

来年度水曜に行っているまつなか塾を夏休みに実施する予定

体力面は、縄跳びを日常化する。また、様々なプロチームの選手を呼び、体験型授業を行い、運動の習慣に結び付けたい。

指導の重点

読書指導について、今年度、読書に力を入れて取り組んだ。来年度も引き続き読書に取り組めるようにする。特別活動では、話し合い活動も充実していく。今年は、コロナもあけ1年生のお世話を6年生ができるようになった。行事を通して成長できるようにしている。

立川市民科がだいぶ地域に馴染んできている。子どもたちも地域の方に感謝を伝えたいという気持ちになってきている。

現在3年生の学習「西砂ダルマ」が来年度継続できない。何がよいか考えている。体験を取り入れたい。

3表より

各種学力調査、体力調査等の結果から国語、算数、体育の強化が必要だと考え、余剰字数を主にそちらの教科にすることとした。また、来年度は展覧会ということで、図工の時間を4時間増やした。

4表より

中規模改修工事の影響で来年度大きく変更しています。

6月1日に運動会、6月4日から水泳指導（外部にバスで）

八ヶ岳自然教室、日光移動教室等の日程も秋に移動しました。

3学期に展覧会に移動することとした。

お知らせ

令和6年度 教育課程説明会

日時 : 2月10日(土) 11時30分～

場所 : 体育館

その他 : 参加者には、来年度の年間行事予定を配布します。